

# 新名神 大津だより

INFORMATION  
01

## 6車線化事業がスタート 「チャレンジ」を忘れず 質の高い工事を

—自己紹介をお願いします。

—令和元年7月1日付で所長に就任しました。NEXCO西日本関西支社で現場の安全管理に3年間携わり、滋賀はまだ土地勘がつかめないところもありますが、新名神高速道路建設という大仕事を引き継ぎ、喜びと責任で身の引き締まる思いです。

—現在の進捗状況を教えてください。

—現在、用地取得は約98%完了し、本線工事着手率は約30%です。今年度中に全線の土工事を発注することを目標としています。地域の皆さま

## ◆インタビュー

新名神高速道路建設事業の滋賀県域を担当する「NEXCO西日本関西支社 新名神大津事務所」の大城社司新所長に、事業の現状と展望について聞きました。

まや行政との円滑なやり取りにより順調に進んでいます。

—また今年3月に国土交通省からの認可を受け、新名神高速道路(甲賀土山IC〜大津JCT、28.5km)における6車線化の事業が始まりました。現在、工事の発注に向けて、設計を進めています。

—6車線化事業によって滋賀がどう変化するか教えてください。

—6車線化により、大型車と普通車の混在が減り、物流の効率化が図られるとともに、降雪や災害発生時には代替路となり、交通ネットワークの強化につながります。さらに、リニューアル工事時の代替路としても機能するなど、多くのメリットが期待できます。

—建設工事を進める上で大切なことは何でしょうか？

—事業を進める上での目標としては、まず何よりも安全第一。二つ目は品質の向上です。密実なコンクリートによる腐食に強い構造物や、土砂災害を想定した法面の保護などで災害に強い道を目指しています。三つ目は資産価値の高いものの構築。道路の利用者はもちろん、地域の皆さまにとっても景観を損ねることなく自然環境に調和した構造物になるよう配慮しています。

—大城所長が大切にしていることは？

—「チャレンジ」ですね。失敗のリスクを恐れ

## ◆事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津〜城陽間)建設の滋賀県域:12.2km及び、甲賀土山〜大津間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。

## ◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果



## ◆新名神高速道路(大津〜城陽間)滋賀県域:12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域)では、用地取得は、11地区が完了し、1地区で実施中です。進捗率は約98%。埋蔵文化財調査は、80%以上が完了しています。工事は、全ての工事用道路工事を施工中で、本線工事についても、三区画全てにおいて施工中です。

大津市南部の自治会で構成される大津市南部三区画新名神対策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、早期開通を目指して、行政・地域の皆さまと一体となって事業を進めています。

また、地域の皆さまとの交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

## ◆各地区の進捗状況(令和元年9月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区間	進捗率(%)	大津JCT〜滋賀県域(12.2km)												
		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)					大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)					上田上学区(2.5km)			
自治会名(km)		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km	
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
用地取得	98	100	100	100	82	100	100	100	100	100	100	100		
埋蔵文化財調査	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆		
工事着手	本線	30	◇	◇	◇	□	◇	□	□	□	□	◇	◇	
	工事用道路	—	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	

☑ 新名神6車線化楽しみにしています。円滑な交通を望みます。(62歳・女性)



新名神大津事務所 所長 大城 社司

—ずに今までにない試みをする予定です。具体的な例としては、現在設計中の天神川橋(仮称)で、高速道路の橋梁としては珍しい二層アーチ構造です。これは琵琶湖疏水や田上山の砂防堰堤など周辺に残る土木遺産との調和を図っています。また一部には、一般的な鉄筋ではなく、高耐久な複合材料・炭素繊維を使用するのも特徴です。

—新所長としての抱負をお願いします。

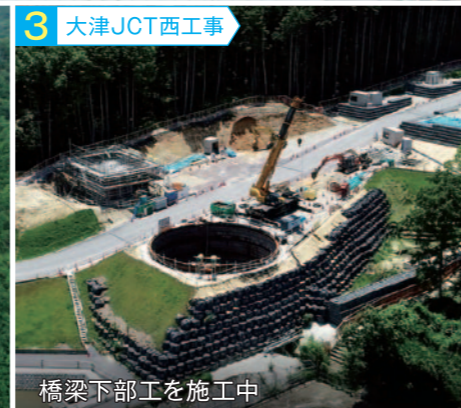
—一日でも早く開通することで渋滞を解消し、安全で快適な道路交通を実現したいです。大津SA(仮称)付近にはスマートインターチェンジも設置され、地域の活性化にも繋がると期待しています。地域の皆さまに愛されるものが完成できるように誠心誠意努力していきます。

読者からのメッセージ ☑ 旅が大好きな私にとって運転する高速のこれからの発展を願っております。(50歳・女性)

工事の状況



※この図は、航空写真・図面等により作成したイメージです。完成と異なることもあります。



今回は「新名神高速道路 大津ジャンクション東工事」を担当する五洋建設(株)・みらい建設工業(株)特定建設工事共同企業体の川端浩二さんに工事概要や抱負を聞きました。

交通の要衝となる大工事に  
安全第一で取り組みたい

— 工事の特色(概要)を教えてください。 —  
大津市上田上の大戸川をはさんで東側の地域において、開通済みの高速道路の拡幅工事、及び本線を約1500m延長する工事を行います。また本線及び新しいランプの橋梁下部工工事として、橋脚20基、橋台4基を施工します。

— 工事で特に気をつけていることは? —  
— 土工事においては、開通している道路に車線規制をかけての長期間の作業となります。防護柵の設置、切盛土工、道路の切り替えといった工程は夜間に行うため、安全

性に十分配慮しています。またドローンやレーザースキャナーを活用した測量なども取り入れ、効率よく作業を行なっています。橋梁下部工区間は、急峻な地形のため、降雨時の山からの大水や川からの土砂流出に備えて、携帯電話の気象情報サービスなどを利用して、細やかに迅速な判断をして適切に工事を進めています。

— 今後の抱負を教えてください。 —  
— 新名神高速道路の要衝であり、交通ネットワークの拠点となる場所の工事を担当することに誇りを感じています。前任担当者が築いてきた地域の皆さまとの良い関係を崩すことなく、常に周辺環境へ目と心を向けながら地域の人々に親しまれる高品質なものを完成させるよう努めます。

インタビュー  
INTERVIEW



新名神高速道路 大津ジャンクション東工事  
現場代理人 川端 浩二さん

☑ 写真が多くとても分かりやすかった。高速のできる工程がわかってよかったです。(49歳・男性)

☑ 宇治田原で仕事をしていて、少しずつ道路が出来てくるのがたのしみです。(59歳・男性)

## NEXCO西日本の環境に配慮した取り組み

NEXCO西日本では、環境方針である「自然と共生する社会の推進」に基づいた景観・環境に配慮した道づくりに取り組んでいます。

7月8日(月)、事業区間にある大津市大石地区の奥出川で、昨年度実施した河川の水生生物を守るための移植作業の効果を検証するため、地元大石小学校5年生の皆さまと一緒に奥出川の水質や水生生物のモニタリング調査を実施しました。

参加した方々は、当事務所と専門家の指導を受けながら、網を使い夢中になって水生生物を採集し、観察・記録を行った後、放流しました。さらに一人一人が水質分析キットを用いた化学的な水質判定を行い、地元の河川の水質や生物の特徴について、楽しみながら学んでいただきました。

NEXCO西日本では、今後も地元の皆さまと協力しながら環境に配慮した取り組みを実施していきたいと考えています。



## 自然環境保全検討会の開催

7月31日(水)、滋賀県域自然環境保全検討会(第7回)を開催しました。これは、動植物の生息・生育環境に配慮した建設工事を行うため、環境保全対策を検討・実施しているものです。

当日は、学識経験者から構成される委員会メンバーに、現地にて希少種の生息環境について確認していただき、その後の会議では、現在までに実施した移植等の保全対策におけるモニタリング調査結果を踏まえて、今後の方針について活発な意見交換を行いました。



☑ 初めて「みちみらい」を読ませて頂きました。びわ湖ブルーのふくろう達に癒されました。ありがとうございます。(43歳・女性)

## 工事安全の取り組み(安全大会総会の実施)

7月5日(金)、新名神大津事務所において、令和元年度安全大会総会を開催しました。

事業進捗と共に工事関係者も増え、当日は受発注者を含む総勢64名の参加となりました。大会には、大津労働基準監督署及び大津警察署からも出席いただき、過去に発生した建設業及び交通関係の事故事例や発生状況、さらに工事現場におけるチェック体制や、今後、現場において注意すべき点や対策についても解説していただきました。

工事安全の取り組みを通じて、さらなる安全意識の向上を図り、災害ゼロを目標に工事を進めてまいります。



## 新名神大津事務所と新名神京都事務所パイロット道路到達式

新名神高速道路(大津～城陽)のうち滋賀県域を担当している新名神大津事務所と、京都府域を担当している新名神京都事務所の工事において、本線内工事用道路(パイロット道路)が繋がったことから、6月25日(火)、パイロット道路到達式を開催しました。

当日は両事務所の所長、副所長がくす玉割りや握手会を行い、今後も安全第一に、工事をまい進していく気持ちを新たにしました。



## 「河川を美しくする会」への参加

6月15日(土)、大津市田上地区で行われた「河川を美しくする会」に参加し、NEXCO西日本は昨年に引き続きお花300ポットを提供しました。この会は、田上学区連合会など地元の皆さまが、河川の景観に彩りを添えるため毎年2回実施しているものです。



☑ ロクハ公園の道路看板は見たことはあったが、こういう公園とわかって遊びに行きました。(14歳・男性)